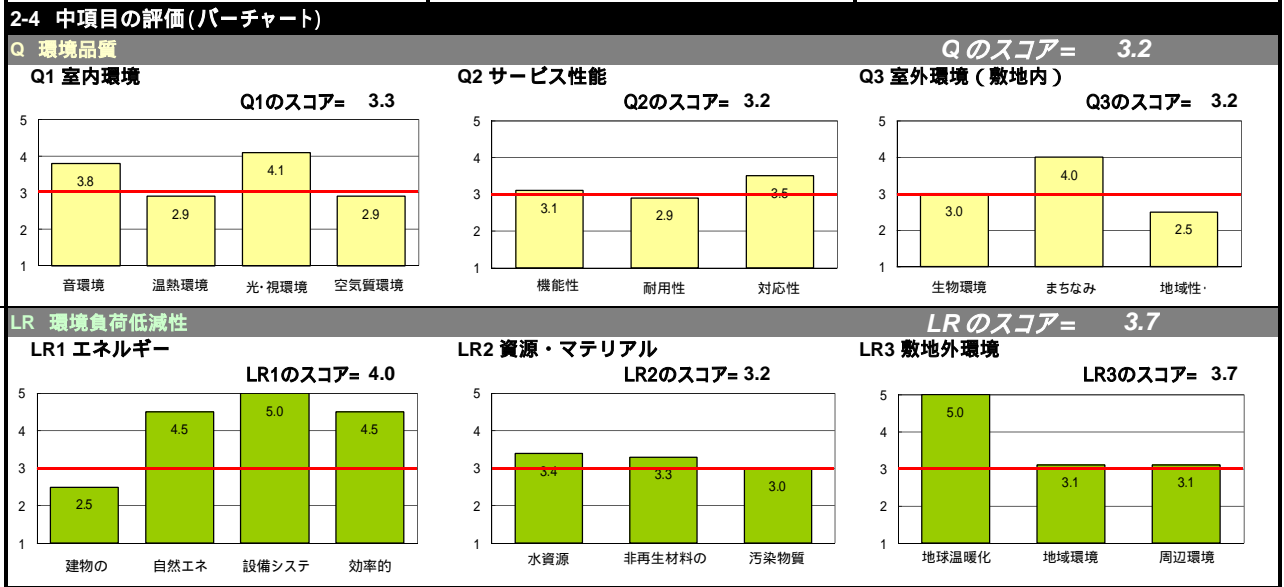
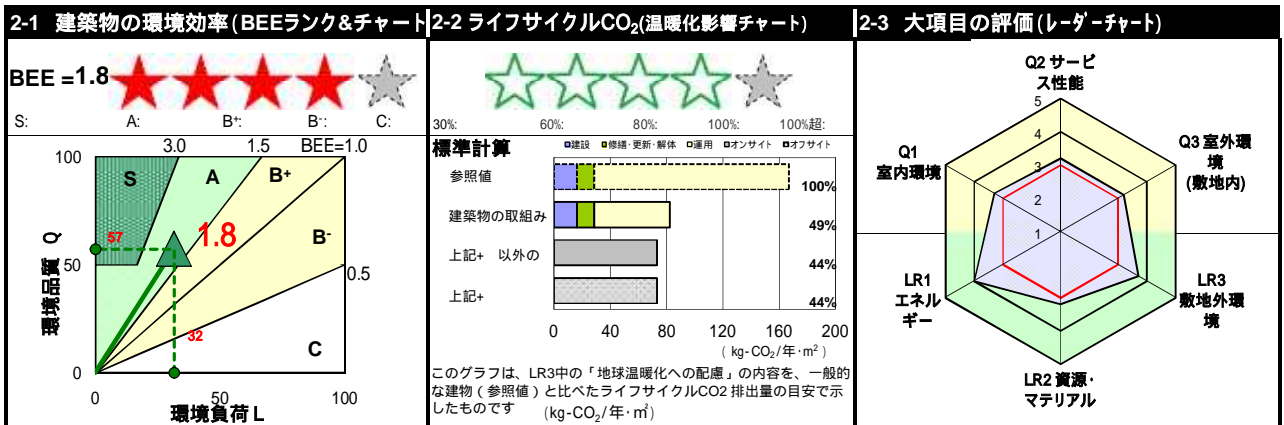


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢T-site SC棟	階数	地上2F
建設地	藤沢市辻堂元町六丁目4176番15他	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、一部準住居地域、準防火地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分		年間使用時間	6,570 時間/年
建物用途	物販店、飲食店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年8月 予定	評価の実施日	2013年11月1日
敷地面積	7,695 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 日本設計
建築面積	3,517 m <sup>2</sup>	確認日	2013年11月1日
延床面積	5,958 m <sup>2</sup>	確認者	



3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>豊かな時間を過ごす場の提供を目的とし、大人をターゲットとしたライフスタイル提案型の商業施設とする。</p>		<p><b>その他</b></p> <p>0</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>建物の南北を一面のガラススクリーンとし、明るい室内を実現するとともに、ガラスにはLow-e複層ガラスを採用し、熱負荷低減も図っている。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>スケルトン・インフィルを徹底し、商業施設としての更新性を高めるとともに、天井レスによる開放感、メンテナンス性にも留意している。</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b></p> <p>藤沢市の高い緑化率を満たすとともに、植生においては外来種を避け、自生する多様な品種を用いている。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>自然換気も可能な南北のガラススクリーンで自然採光・自然通風を推進するとともに、屋根に122kwの太陽光発電を設置している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>鉄骨造により、躯体と仕上の分離を容易にするとともに、衛生工学会の定める商業施設の使用水量に比べ30%以上の節水器具を採用している。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>2階建てに抑えた計画と、外壁面を雁行させることで周囲への負荷を低減するとともに、高い緑化率でヒートアイランドにも配慮している。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと。評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される。